

地域福祉と空家の しあわせ♥な関係

第1回

平成30年 2月18日(日)
午後2時～午後4時(開場:午後1時30分)

「福祉と空家のしあわせ♥な関係」

地域福祉の視点からの空家発生予防や活用についての講演、パネルトークなど



倉敷市つくば片山家プロジェクトの活動風景

出演



横山 俊祐氏

(大阪市立大学大学院教授)

1985年 東京大学大学院工学系研究科 建築学専攻博士課程修了。同年 熊本大学工学部建築学助手。2005年より現職。民家を改修したグループホームなどの福祉施設・オープンスクールなどの教育施設・住民参加による集合住宅の計画・地域施設や地域づくりなどを対象とした建築計画学研究。主な著書:「生活視点の高齢者施設(中央法規)」等

民参加による集合住宅の計画・地域施設や地域づくりなどを対象とした建築計画学研究。主な著書:「生活視点の高齢者施設(中央法規)」等



滝口 三保氏

(つくば片山家プロジェクト)

代表 法人理事長

1952年 岡山県倉敷市帯高に生まれる。岡山大学法学部史学科卒業。大阪府豊中市在住。学校司書として17年間勤務。現在は豊中市立千里図書館に非常勤司書として勤務。生家である古民家「つくば片山家」の保存活用等を目的としたNPO法人「つくば片山家プロジェクト」代表(法人理事長)として活動中。

生家である古民家「つくば片山家」の保存活用等を目的としたNPO法人「つくば片山家プロジェクト」代表(法人理事長)として活動中。



松岡 邦彦氏

(つくば片山家プロジェクト)

事務局担当理事

1977年 愛知県安城市に生まれる。愛知県立大学文学部社会福祉科卒業し、社会福祉士登録。兵庫県立大学・経営研究科ヘルスケアマネジメントコースにて修士号(H-MBA)取得。大学卒業後はMSW(医療ソーシャルワーカー)として勤務。現在は岡山県倉敷市内にある訪問診療を専門とする「茶屋町在宅診療所」に勤務、NPO法人「つくば片山家プロジェクト」の事務局担当理事も兼務する。

大学卒業後はMSW(医療ソーシャルワーカー)として勤務。現在は岡山県倉敷市内にある訪問診療を専門とする「茶屋町在宅診療所」に勤務、NPO法人「つくば片山家プロジェクト」の事務局担当理事も兼務する。

第2回

平成30年 2月25日(日)
午後2時～午後4時(開場:午後1時30分)

「地域と空家のしあわせ♥な関係」

まちづくりの視点からの空家発生予防や活用についての講演、パネルトークなど

出演



谷 亮治氏

(「モテるまちづくり」著者、博士(社会学))

1980年大阪生まれ。博士(社会学)。京都市まちづくりアドバイザー。大学在学中より住民参加のまちづくりの実践と研究に携わり、2011年より現職。代表作に「モテるまちづくり-まちづくりに疲れた人へ。」(まち飯叢書、2014)。本書の読書会ツアー「モテまち読書会」で、全国約55箇所およそ1500名のまちづくり実践者と語り合ってきた経験から「純粋でポップな限界のまちづくり-モテるまちづくり2」(まち飯叢書、2017)を出版。

本書の読書会ツアー「モテまち読書会」で、全国約55箇所およそ1500名のまちづくり実践者と語り合ってきた経験から「純粋でポップな限界のまちづくり-モテるまちづくり2」(まち飯叢書、2017)を出版。



家成 俊勝氏

(ドットアーキテクト)

1974年 兵庫県生まれ。京都造形芸術大学准教授。2004年、赤代武志とドットアーキテクトを設立。アート、オルタナティブメディア、建築、地域研究、NPOなどが集まるコアポ北加賀屋を拠点に活動。建築設計だけに留まらず、現場施工、アートプロジェクト、さまざまな企画にもかかわる。代表作はUmaki Camp(2013、小豆島)など。第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展(2016)にて審査員特別表彰を受賞(日本館出展作家)。

さまざまな企画にもかかわる。代表作はUmaki Camp(2013、小豆島)など。第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展(2016)にて審査員特別表彰を受賞(日本館出展作家)。

千鳥文化



Yoshiro Masuda

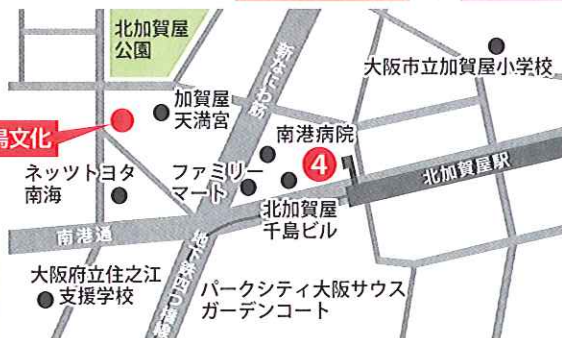
申込
不要

会場

無料

対象者
どなたでも

千鳥文化



大阪市住之江区北加賀屋 5-2-29

【最寄駅】地下鉄四つ橋線北加賀屋駅4番出口より徒歩4分

主催: 大阪市住之江区役所

お問合せ先 住之江区役所 保健福祉課(地域福祉) ☎ 06-6682-9906 ☎ 06-6686-2040



大阪市住之江区住みまかせ人
『雷鳴』も登場!!



「家」も年をとる。 マイホームを空き家にしないうために。

楽しい思い出がたくさんあったマイホームも、住む人がいなくなり放置されたまましていると残念ながら周囲に迷惑をかける「特定空家」になってしまっています。そうならないためにも適正な管理と活用を考えておきましょう。



住之江区によくある「特定空家」に関する困りごと

- 草木の手入れがされておらず、虫がたくさん発生して不衛生！
- 瓦が落ちている、壁がはがれていて近くを通るのが危険！
- 見知らぬ人が出入りしていて放火など起きないか不安！



住之江区によくある「特定空家」が放置されている理由

- 隣近所の人と連絡がとれておらず所有者が家の現状に気づいていない
- 家族間で所有する家の処理の方向性を決めていない
- 所有者が入院などで不在になっている



ご近所さんの力であったこんな解決事例！

- 昔やりとりした年賀状を頼りにご近所さんが空き家の所有者に連絡を入れ、所有者に現状を伝え改修してもらった！
- ご近所さん同士で話し合い、空き家の所有者に最低限の草木の手入れを依頼した！



そもそも「特定空家」ってなに？

倒壊等の危険や衛生上有害、景観を損なっているなど、放置することが不適切な状態にある空き家を「特定空家」と呼びます。



みんなで
～考えな
あかん

ご近所さんとも
仲良くして
おきたいね～

